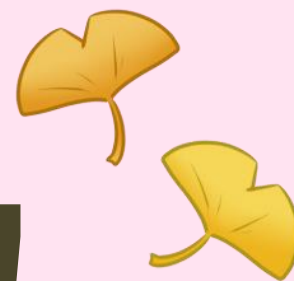


平成30年9月29日(土)



# 公開講座を行いました！

## テーマ：全身疾患と歯科治療の関わり

～特に糖尿病そして周術期等口腔管理について～

講師：歯科部長 葛西ひとみ 医師



今回の公開講座では、歯科治療が全身疾患へ与える影響と、糖尿病と周術期口腔管理について詳しく講義をして頂きました。

### ①糖尿病と歯科治療

歯周病菌の感染による炎症物質が血糖コントロール不良を及ぼすことがあるそうです。糖尿病診療ガイドライン(2016)でも、血糖値改善の可能性があるということで歯周治療が推薦されています。

### ②周術期等口腔管理

「周術期」とは、術前・術中・術後・回復といった、手術の前後を含めた一連の期間を指します。

周術期の口腔管理を行うことで、口腔内細菌による手術部位感染や病巣感染、術後合併症などを予防することが出来るようです。また嚥下機能障害で起こる誤嚥性肺炎に起因する感染症などの防ぐ効果があるということでした。

## 口腔疾患と全身疾患



- 齲蝕(虫歯)
- 歯周病

その原因は？

全身に及ぼす影響は？

- 感染症のひとつ
- 口腔細菌叢の存在

- 心疾患
- 呼吸器疾患
- 妊娠
- 糖尿病
- 病巣感染・アレルギー

誘因となる全身疾患

誘因となる可能性を指摘されている疾患

- がん
- 骨粗鬆症
- 肥満
- メタボリックシンドローム
- 腎疾患
- 関節炎
- 動脈硬化

この図では、虫歯や歯周病などの原因である感染症や口腔細菌によって誘因となる全身疾患、またはその可能性が指摘されている疾患が示されています。歯とは無関係に思える疾患でも、大きく影響しています。歯の健康は全身の健康につながる事が分かりますね。